

## 機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

## 機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●8月の対馬暖流の流幅はかなり広めであった。	●当研究所が青森市久栗坂沖(陸奥湾)に設置しているホタテガイ養殖施設において、9月12日及び10月11日に回収した養殖籠内に、過去に確認されたことがない全長数cmのアジの稚魚が混入していた。 ●釣り情報では、陸奥湾で、7～8月にかけて20～25cmとこれまでにない大型のアジが釣れていた。 ●本県南部に位置する鱒ヶ沢赤石及び深浦町岩崎で実施した増殖場の効果調査で、本県では、生息についてこれまで報告事例がなかった小型のムラサキウニの生息を確認した。	特になし

## 機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	●これまでほとんど漁獲のなかったケンサキイカが、底びき網及び定置網で約1トン(前年同期比約9倍)水揚げされた。そのほか、主に定置網で漁獲されるコウイカが1トン(同5.6倍)、サワラが56トン(同3.9倍)、シイラが41トン(同3.3倍)、底びき網で漁獲されるホッケが20トン(同4倍)などが前年を大きく上回った。 ●これまでは目にする機会が少なかったが、水深100m以浅の海域でエソ類の採集情報が増えてきた。	●9月に、県南部を主体にメジロザメ類と見られるサメによる底びき網への被害が多発した。被害件数などの定量的な情報はないが、漁業者からの聞き取り情報によると例年よりも多いとのことである。被害は、揚網時に網に食いつかれることによる漁具の破損や、漁獲物の逸失などである。		

## 機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	●サワラが豊漁(はえなわで6～49トン/月、平年と比べて17～27倍)	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●5～6月にかけて、富山湾の湾奥を中心に、大量に出現したミスクラゲは、7～9月においても、引き続き湾内で認められた。	特になし	特になし

## 機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●近年来遊量が少ない大型クラゲについて、8月22日に福井県境に隣接する県南部の定置網で入網し、以降、定置網や底びき網で入網が続き9月末現在報告があったもので982個体を確認した。	特になし	特になし

## 機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●7月16日に大型クラゲが県内の定置に初入網した。9月末現在で断続的に入網。底曳網漁場でも確認されている。	特になし	特になし

## 機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	●プリオ歳魚が定置網で7、8月に多く、9月に少なかった。 7月53.5t(前年4.4t、平年*21.1t) 8月195.4t(前年51.2t、平年*68.9t) 9月59.9t(前年120.8t、平年*121.5t) *:2006-2015年平均	特になし	特になし	●台風通過に伴う急潮により多数の定置網が被災した。 8月9ヶ統(T1610) 9月4ヶ統(T1612,T1616,T1618)

## 機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●8月初旬以降、但馬沖及び嵯峨周辺において底びき網で散発的に大型クラゲ(1～150個体/網)が確認された。 ●8月下旬以降、定置網で散発的に大型クラゲ(1～数個体/統/日)が確認された。	特になし	特になし

## 機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	【境港旋網】 ●マジ 8月単月の水揚量は500tであり、2006年以降で最も少ないものとなった。 ●プリ 8月単月の水揚量は2,532tで、浮魚類中最も漁獲され、統計のある1989年以降で2番目に多いものとなった。 ●クロマゴロ(まぐろ・よこわ銘柄) まぐろ銘柄の7月単月の水揚量は、606t(2014年326t、2015年550t)と好漁ペースで水揚げされ、漁期中の総漁獲量が自主規制量(ラウンド重量1,800t)にほぼ達したため、7月15日の水揚げをもって漁期を終了した。 また、2015年水揚げのなかったよこわ銘柄は、9月に168t水揚げされた。	特になし	特になし	特になし

## 機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	●ソテイカ 主要産地である賀露地区の9月の漁獲量は、過去10年平均と比較し、2.5倍多く漁獲された。	●海水温 ・7月上旬～中旬:過去10年平均より1℃高い ・7月下旬～8月中旬:平年並み ・8月下旬～9月下旬:1～1.5℃低い	特になし	特になし

## 機関名: 鳥根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	特になし	●鳥根県沿岸では、海水温(表層水温)が平年より1～2℃高い状態が6月中旬～8月中旬まで続いた。	特になし	特になし

## 機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成28年 7月～9月	●8月のいか釣りによるケンサキイカ漁獲量が1982年以降最低であった(代表2地区漁獲量3.0トン、平年比24%)。	●7月上旬の萩沖表層水温は24.4℃で1964年以降最高を記録した(平年値22.7℃)。	特になし	特になし